

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-450
研究課題名：	高齢者ノンアドヒアランスの特徴についての検討と系統的な対処法の確立に関する研究：高齢者ノンアドヒアランスの実態調査 (Pilot survey)
研究期間	西暦 2013 年 4 月 (倫理委員会承認後) ～ 2014 年 3 月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 生検材料 (対象臓器名) <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 ■その他 (カルテ情報)
上記材料の採取期間	西暦 2012 年 12 月～2013 年 11 月
意義、目的	高齢になると、それ以前の年齢層に比べて明らかに背景 (身体機能・認知機能・社会的背景) が多様化し、より個別化した対応が必要になるが、現状は個々の状況に応じて家族やケアスタッフが独自の工夫をしながら対応するにとどまっている。それら個々の対応の中には広く一般に応用可能なものも散見される。現場レベルで個別対応の工夫レベルでとどまっているこれら管理方法をノンアドヒアランスのタイプにしたがって系統的に分類することで、高齢者薬物管理手法を広く改善することができる。本研究では、高齢者でみられるノンアドヒアランスのそれぞれの状況でどのような個別対応が現場で行われ、それがどの程度アドヒアランスの改善に寄与しているのかを明らかにすることを目指す。高齢者のノンアドヒアランスの種類・状態に応じた系統的な対処方法を確立することを最終的な目的として行う一連の研究の一部として行うものである。
方法	東北大学病院老年科外来を受診した患者でアドヒアランス調査票を記入したものの悉皆調査を行う。アドヒアランス調査票は 2012 年 12 月から使用を開始し、初診・再来患者の実際の診療に現在も継続的に用いられている。2013 年 11 月末までに約 200 人分の記録が存在し、これらを調査対象として集計・解析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口	東北大学病院老年科 助教 富田 尚希 (TEL) 022-717-7182